

平成 29 年度 第 4 回 SD 研修会報告

内 容	テーマは「宮崎学園の各学校の特色を知ろう」で、教職員の各学校への相互理解の醸成により、児童・生徒・保護者から選ばれる宮崎学園グループを目指す
日 時	平成 29 年 9 月 20 日（水）14:00～16:40
場 所	宮崎学園中学校・高等学校 大坪記念ホール
進 行	通訳：西村 直樹 氏
出席者	15 人参加 他教員 11 人参加
議 事 内 容	
<p>第 4 回宮崎学園 FD・SD 合同研修会が大坪記念ホールにて開催された。</p> <p>まず理事長より、本学の歴史や現況について説明があり、前理事長をはじめとする多くの教職員などの尽力・功績により宮崎学園が発展してきた経緯についてお話があった。また、今回の研修会で各学校の特色を知り相互理解を深め、生徒や保護者から選ばれる宮崎学園を目指す、との本研修会テーマが改めて語られた。</p> <p>その後、各学校よりパワーポイントを使用した学校紹介がなされた。以下に発表内容の概要を記す。</p> <p>1. 事例発表（宮崎学園高等学校）</p> <p>特進科、普通科、経営情報科の 3 学科からなる宮崎学園高等学校は、「礼節・勤労」の建学の精神をもとに築き上げられた伝統と校風を継承しながら、勉学・部活動・学校行事に日々励んでいる。特進科は、課外授業や少人数教育を取り入れ、教員と一丸となり難関大学への合格を目指している。昨年度は東京大学現役 2 名合格、その他難関大学に多数合格し高い実績を上げ、後輩の意識向上にも繋がっている。普通科は、学習と部活動の両立と、個性に応じた進路目標の実現を目指し、1 年次から進学・音楽・スポーツ・幼児保育・グローバルの 5 コースを選択することができる。また経営情報科は、簿記や情報処理など就職・進学に役立つ数多くの資格取得を目指しており、7 種目以上 1 級取得者数が県内 No.1 である。各学科が特色を活かし、それぞれが夢をかなえる宮崎学園高等学校を目指すとの意気込みを語られた。</p> <p>2. 事例発表（宮崎国際大学）</p> <p>国際教養学部は、日本で初めて全てを英語で授業し、全国トップクラスの外国人教員比率を誇る大学である。リベラル・アーツを少人数制（20 名程度）で学び、16 週間の海外研修も実施、恵まれた環境下において、入学時から英語力が飛躍的に伸びる学生が多くいる。卒業後は、航空会社、放送会社、教育関係など多分野で活躍している。宮崎に居ながら高い英語力と幅広い教養を身につけ、グローバルに活躍できる人材の育成を目指している。教育学部は、完成年度を迎えた今年度、教員採用試験の一次試験に多数合格するなど既に実績がでている。学外講師を招き試験対策講座を実施するなど、教員が学生に親身に寄り添いながら、手厚い指導とアドバイスを施した結果である。今後も教員採用試験合格者を多く輩出できるよう、教員・学生が一丸となり質の高い教育養成を目指す。</p> <p>3. 事例発表（幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属みどり・清武みどり幼稚園）</p> <p>「きまりよく、なかよく、ありがとう」を保育目標に掲げ、毎日子どもたちが笑顔で元気に遊んでいる。同年齢・異年齢学年グループ等のチーム保育を実施し、園児が様々なことに興味を持ち、協調性や自主性を身につける保育を行っている。また、宮崎学園の連携を活かし、短</p>	

期大学等からの実習生受入れや、英語・音楽教育の充実にも力を入れている。教員は、それぞれの園児がもつ良さや可能性を伸ばし、専門家としての資質の向上に努めている。

4. 事例発表（宮崎学園短期大学）

保育科と現代ビジネス科からなる宮崎学園短期大学。県内外で活躍する保育科の卒業生の活躍は、本学の信頼と実績を築いている。本学保育科を親子三代にわたり卒業し、現在も活躍されている保育園経営のご家族が紹介され、広く地域に貢献する人材の育成が実践されていることが伝わった。現代ビジネス科では、ビジネス、医療事務・医療秘書の2コースがあり、ビジネススキルと様々な資格や免許が取得でき、就職に強い学科である。司書、簿記、情報処理関連の資格を取得し、社会で即戦力となる人材育成を目指している。

5. 事例発表（宮崎学園中学校）

中高一貫教育で、高校3年の大学受験を見据えた計画的な教育課程を取り入れ、教員と学生の距離が近い、最後まで見届け寄り添う教育を実践している。35分間の朝の読書、その後の黙想の時間も特徴的である。理数教育の充実にも積極的に取り組み、一人一人が研究テーマを設定し中学3年で論文を作成している。また、宮崎国際大学との連携により、英語力の向上にも力を入れている。